内浦公民館だより

令和７年１月24日発行

(2025) ＜vol.136＞

Artfull うちうら

［発行］
内浦公民館
〒919-2351
高浜町山中 104-4-2
TEL.0770-76-2007
FAX.0770-76-2008
E-mail
uchiura_c.c@town.takahama.lg.jp

～明けましておめでとうございます～
本年もよろしくお願いいたします！

内浦公民館講座

からだを整える季節の雑穀料理(冬・ひえ)

お米と似たような炊き上がり

令和6年12月1日（日）
内浦公民館２階調理実習室で【からだを整える季節の雑穀料理】を開催しました。講師は山﨑慶子さん。田んぼではやっかいなイメージですが、ひえは穀物の中でも栄養価が高い事を教わりました。フライパンで簡単に炊くことができ、アレンジレシピは【ひえのナゲット】（写真左）と【ピザ】（写真右・ピザ生地）お子さんと一緒に作るのも楽しそうですね(*^^*)

冬休み習字教室

令和6年12月24日（火）
内浦公民館１階会議室で【冬休み習字教室】を開催しました。講師は居関里江さん。学年ごとに出されている課題を練習しました。学校でも居関さんに習字を習っています。書いてみて、難しかったところを積極的に質問して、清書を仕上げました。

- 開館時間　午前8時30分～午後10時
- 利用時間　午前9時～午後9時30分　夜間利用が無い場合は午後5時で閉館いたします。

＜2月の休館日＞　３日(月)・10日(月)・16日(日)・17日(月)・24日(月)

フラワーアレンジメント教室　　＜あおば憩いの家・内浦公民館＞

令和6年 12 月 27 日（金）
フラワーアレンジメント教室を2つの会場で開催しました。講師は馬場友子さん。内浦の竹を使った花器は節 3 本がまとめられていて、それぞれ違った良さが素敵でした。花器選びから始まりお花そしてお正月らしい飾りまで、皆さん楽しみながら活けられました。

≪地域ニュース≫

令和6年12月14日(土)
内浦小中学校【学習発表会】が開催されました。

小学1.2年生から順に小学生の部、休憩をはさんで中学生の4グループによる発表が行われました。学習発表会を楽しみにされている、家族の皆さんや地域の方もたくさん来られました。元気いっぱい、学年それぞれの取り組みが発表されました。展示もじっくり見ることが出来ました。

日引ふれあい広場【農家食堂】

どちらも笑っているみたい！

令和6年12月21日（土）のメニューは<おかめそばと、お楽しみ巻物>でした。おかめそば(?_?)どんなそばなのかスタッフさんに尋ねると「一つ一つ、顔が違うのですこし時間がかかります。」との事。提供されて納得(^^♪写真のそばを見比べてください。具材の工夫で表情が作られていました！お客さん同士見比べながら楽しまれていましたよ。ごちそうさまでした(*^^*)

館長の《こーひーぶれいく》No.117

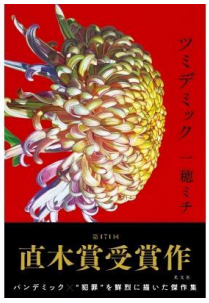
今回は　一穂ミチ　著　「ツミデミック　」です。

　新型コロナウイルスの感染により形成された社会のなかで、職を失ったり、他者とのつながりが希薄になったり、人間関係にひびが入ったり、いびつな環境のなかで生まれた犯罪をテーマにした 6 篇の物語です。それぞれの主人公はバッドエンドなのかパッピーエンドといえるのか。

　違う羽の鳥　　週末の夜、客引きのバイトをする優斗は若い女と目が合う。いかにも強そうで派手なその女は、優斗に「ひょっとして、関西の人？」と問う。それをきっかけに優斗は彼女と仕事終わりに飲みに行くことになる。お互いに自己紹介をすると、女は「井上なぎさ」と名乗る。優斗の学校の同級生だった「井上なぎさ」は既に亡くなっていた。女の言うことは過去の優斗の記憶と一致する。
　なぎさが自殺した理由は厳しかった母を苦しめるためであり、「井上なぎさとして死んでくれる」容姿の似た友人をツイッターで見つけていた。優斗の目の前の女は「なぎさ」なのか「身代わり」なのか。

　特別縁故者　　飲食店の料理人だった恭一。緊急事態宣言等の影響で就職先も見つからず、妻の稼ぎによって家計を維持されている。公園で遊ぶ息子を迎えに行くと、聖徳太子の 1 万円の入った缶を持っていた。少し離れた一軒家に住む老人の家にスーパーボールが入ってしまい、取りに行った際にその老人の肩もみをして、お礼にもらったという。息子いわくお札はまだ一杯あったという。恭一は得意の料理を作って老人に近づき、特別援護者となり相続人となることを画策する。その思惑は老人にバレていたが、偶然にも強盗から老人を守ってしまう恭一に、思いもよらないプレゼントが待っていた。

　さざなみドライブ　　自殺を目的に集まった年齢も属性もバラバラな 5 人。死にたい理由はさまざま。コロナ禍のなかバーでの飲み会を週刊誌に直撃され仕事を失った俳優の遠藤。妻が反ワクチン派に洗脳されて、おかしなセミナーの詐欺にひっかかり、家族関係が破綻した毛利。パンデミックの中、マスクや消毒液を手に入れようと、しつこく迫られ、職場のものを持ち帰っているかのように疑われる医療従事者。自分の顔が嫌いで、マスク生活が終わるのが苦痛な中学生など。
　目的地に着くと、目張りした不審な白い車があり、見に行った毛利は中で自殺しているようだという。まだ生きていたら、通報するかしないか。死にに来た自分たちが人の命を助けるのか？
土壇場でおじけづいた 5 人は、今日のところは自殺を止めにすることに。毛利から渡されたお茶を飲みほした 4 人に急に脱力感が襲ってくる。もしや睡眠薬が中に？



　コロナ禍において、こんなにも社会が変容してしまうとはだれが想像したでしょうか。理由の曖昧な緊急事態宣言。一人で出歩いただけで、飲み会をしただけで、非難の標的となり、まるで密告社会のような、感染者は犯罪者のように扱われ、社会の問題を個人の問題にすり替えてしまう同調圧力。個人の自由や尊厳はどこに行ってしまっていたのでしょうか。 あれから 5 年、街ゆく人々は、何の反省もないままに、もうすっかり忘れてしまったようです。

12 月号で紹介したリースが完成しました

子供から大人まで約20名の皆さんに松ぼっくりを付けていただき豪華に飾られたリース。クリスマスが終わるまで玄関で展示しました。

これからの内浦公民館講座のお知らせ

ぐる～っと！内浦　＜内浦の仏像＞

講師：福井県立若狭歴史博物館主任　河村健史　氏

●第１講（音海～神野浦編）
令和7年1月25日（土）10:00～12:00【場　所】内浦公民館　１階会議室

●第２講（山中～上瀬編）
令和7年2月　8日（土）10:00～12:00【場　所】内浦公民館　１階会議室

組子細工チャーム作り

講師：土本聡美　氏

令和7年2月15日（土）10:30～12:00【場　所】内浦公民館１階会議室
【参加費】1,000 円（材料代）
【持ち物】マスク

＊組子細工は、釘を一切使わずにミリ単位の細かな木片を組み合わせる、日本の伝統工芸です。
自分だけのオリジナルチャームを作りませんか？

草木染め教室～うちうらレモンの葉っぱで染めてみよう～

講師：永登裕芳理　氏

令和7年２月22日（土）13:30～15:30【場　所】内浦公民館２階調理実習室
【参加費】1,500 円（エコバック等　材料代）
【持ち物】エプロン・汚れてもよい服・ビニール袋

＊エコバックを染めてみませんか？どんな色に染まるのかは、お楽しみにしてください。

■ 元気あっぷ生き活き倶楽部
【次の開催日】２月　４日（火）13:30～15:00　【会場】内浦公民館２階　多目的ホール

■ らくらく運動教室
【次の開催日】１月 28 日（火）13:30～14:30　【会場】日引ふれあい広場